



学校だより 7月号 JUL

令和2年6月30日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

見守る楽しさ

副校長 藤本 光子

鮮やかに色づいた紫陽花が雨露に濡れ、子どもたちの登校をしっとりと出迎えています。濃い紫や薄青の紫陽花の咲く校庭も、なかなか味があるものです。

さて、先月は分散登校や様々な準備等にご協力いただき、本当にありがとうございました。特に1年生は、慣れない中での分散登校となりましたが、ご家庭で事前にお話していただくなどご協力いただいたことで、無事に登下校することができました。心より感謝いたします。

分散登校の日の朝、ある1年生の保護者の方が、門のところまで見送りに来てくださっていました。1年生の体には、やや大きく見えるランドセル。その後ろ姿が見えなくなるまで、じっと見つめているお母さん。途中その子が何度か振り向き、お母さんに向かって大きく手をふりました。それを見ていたお母さんも、しっかりと手を振り返しました。最初は「かわいい光景だな。」なんて思っていました。すると、その保護者の方が私に、「他の方があまり見送っていないのに（我が家は）校門まで見送ってもよいのでしょうか。」と声をかけてくださりました。「もちろん大丈夫です。いつもありがとうございます。」と答えました。

このような事態の中でも、小さな1年生は自分なりにがんばって、自分の足で歩いて進もうとしています。その様子を後ろから見守りたいと思いつつも、付き添ってよいものかとお不安も抱えていらっしやった保護者の方のお気持ちを想像すると、胸が熱くなりました。「どうか安全に過ごしてほしい。」「早く友達を作ってほしい。」「何でも自分でできるようになってほし

い。」「楽しく学んでほしい。」保護者の方の思いや願いはたくさんあるかとます。私は、子どもを見守ることに期限もルールもスタイルもないと思っています。見守ることで、手を差し伸べるタイミングが分かり、お子さんの安心につながります。また、必要以上の手出しを控えることもでき、成長につながります。ぜひ、思いや願いを大切にされながら、お子さんに合わせた方法で見守ってあげてください。卒業の時はあつという間にやってきます。それまで、慣れないことに挑戦する初々しい姿や徐々にたくましく成長していく姿を目に焼き付け、見守る楽しさを味わってください。また、7月には個人面談があります。今回が担任と初対面になる方は、緊張されるかもしれません。ですが、学校から様子をお伝えするだけの時間とせず、この機会にぜひ保護者の方からもお話をいただければと思っています。よろしくお願いいたします。

ところで、当然ながら子ども自身も、様々な思いを抱えています。毎日背負っているカバンの中には、学習用具と一緒に、期待や不安をいっぱい詰め込んでいます。この6月は特に、不安の方が大きかったのではないのでしょうか。私たち職員は、こんな時だからこそ、いつもと変わらず「子どもの思いや願いを一番大切に」そんな当たり前のことを改めて確認し、これからも力を注いでいきたいと思っています。

最後になりましたが、今年度は短い期間の夏休みとなります。どうぞ健康に気を付けてお過ごしください。夏休み明けに、元気に登校してくれる姿を楽しみにお待ちしております。